

本文

【白文】

范増数目^二項王^一、挙^三所^レ佩玉玦^二以示^レ之者^三。①項王默然不^レ応。范増起、出召^三項莊^一、謂曰、「君王為^レ人不^レ忍。②若入前為^レ寿、寿畢、請以^レ劍舞、因擊^三沛公於坐^一、殺^レ之。③不者、若属皆且^レ為^レ所^レ虜。」④莊則入為^レ寿。寿畢、曰、「君王与^三沛公^一飲、軍中無^二以為^レ樂、請以^レ劍舞。」項王曰、「諾。」項莊拔^レ劍起舞。項伯亦拔^レ劍起舞、常以^レ身翼蔽^三沛公^一、莊不^レ得^レ擊。⑤於^レ是張良至^三軍門^一、見^三樊噲^一。樊噲曰、「今日之事何如。」良曰、「甚急。今者項莊拔^レ劍舞、其意常在^三沛公^一也。」⑥噲曰、「此迫矣。臣請入、与^レ之同^レ命。」⑦噲即帶^レ劍擁^レ盾入^三軍門^一。

【書き下し文】

范増数（しばしば）項王に目し、佩（お）ぶる所の玉玦（ぎょっけつ）を挙げて以（もつ）て之（これ）に示す者（こと）三たびす。①項王默然（もくぜん）として応（おう）せず。范増起（た）ち、出（い）でて項莊（こうそう）を召（め）し、謂（い）ひて曰（いは）く、「君王（くんおう）人と為（な）り忍（しの）びず。②若（なんぢ）入（い）りて前（すす）みて寿（じゅ）を為（な）し、寿畢（をは）らば、請（こ）ふ劍を以て舞ひ、因（よ）りて沛公（はいこう）を坐（ざ）に擊（う）ちて、之を殺せ。③不者（しからず）んば、若（なんぢ）の属（ぞく）皆（みな）且（まさ）に虜（とりこ）とする所と為（な）らんとす。」④と。莊則（すなは）ち入りて寿を為す。寿畢らば、曰く、「君王沛公と飲むに、軍中（ぐんちゅう）以て樂

(がく)を為す無し、請ふ劍を以て舞はん。」と。項王曰く、「諾(だく)。」と。項莊劍を抜き起ちて舞ふ。項伯(こうはく)も亦(また)劍を抜き起ちて舞ひ、常に身を以て沛公を翼蔽(よくへい)す。莊撃つを得ず。⑤

是(ここ)に於(お)いて張良(ちょうりょう)軍門に至り、樊噲(はんかい)を見る。樊噲曰く、「今日(こんにち)の事何如(いかん)。」と。良曰く、「甚(はなは)だ急なり。今者(いま)項莊劍を抜きて舞ふ、其(そ)の意(い)常に沛公に在るなり。」⑥と。噲曰く、「此(こ)れ迫(せま)れり。臣(しん)請ふ入りて、之と命を同じくせん。」⑦と。噲即(すなは)ち劍を帶(お)び盾(たて)を擁(よう)して軍門に入る。

設問

- 傍線部①「范増数目項王、挙所佩玉玦以示之者三」を書き下し文に改めなさい(送り仮名・現代仮名遣いの読みを補うこと)。
- 「項王默然不応」を現代語訳しなさい。また、この一文から読み取れる項王(項羽)の心情・態度を説明しなさい。
- この一連の場面で、項羽の人物像はどのように描かれているか。「默然不応」の態度や范増の合図への反応をふまえて説明しなさい。
- 傍線部②「君王為人不忍」を現代語訳しなさい。あわせて、「為人」の読みと意味を答えなさい。
- 傍線部③「若入前為寿、寿畢、請以劍舞、因撃沛公於坐、殺之」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 書き下し文に改めなさい。
 - (2) 「若」の読みと意味を答えなさい。
 - (3) 「因」の読みと意味を答えなさい。
- 傍線部③「請以劍舞」の「請」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 読みを答えなさい。
 - (2) この「請」が表す意味(用法)を説明しなさい。
- 項莊が「請以劍舞」(劍を以て舞はん)と申し出た、表向き理由と本当の目的とを、それぞれ説明しなさい。
- 傍線部④「不者、若属皆且為所虜」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「不者」の読みと意味を答えなさい。
 - (2) 「皆且為所虜」に用いられている句法を二つ指摘し、それぞれの意味を答えなさい。
 - (3) 全体を現代語訳しなさい。
- 本文中の「軍中無以為楽」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「無以」の読みを答えなさい。
 - (2) 「無以為楽」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑤「項伯亦拔劍起舞、常以身翼蔽沛公、莊不得撃」について、次の小問に答えなさい。

- (1) 「翼蔽」の読みと意味を答えなさい。
 - (2) 「莊不得擊」を、句法に注意して現代語訳しなさい。
11. 傍線部⑤「莊不得擊」に用いられている句法の名称を答え、その意味を説明しなさい。
12. 「今日之事何如」の「何如」について、読みと意味を答えなさい。
13. 傍線部⑥「其意常在沛公也」を現代語訳しなさい。また、ここでの「意」が具体的に指す内容を説明しなさい。
14. 傍線部⑦「臣請入、与之同命」について、次の小問に答えなさい。
- (1) 書き下し文に改めなさい。
 - (2) 「与之同命」の「之」が指すものを答えなさい。
 - (3) この発言から読み取れる樊噲の人物像を説明しなさい。
15. 傍線部①について、次の小問に答えなさい。
- (1) ここでの「目」はどのような意味・用法か、説明しなさい。
 - (2) 范増がこの動作を「三たび」繰り返したのは、何を項王に伝えるためか。簡潔に説明しなさい。
16. 傍線部④「且」の読みと、ここで表している意味（用法）を答えなさい。
17. 項伯が剣舞に加わり、しきりに身をもって沛公をかばったのはなぜか。項伯の立場をふまえて説明しなさい。
18. 本文中における項王（項羽）と沛公（劉邦）の関係を、「鴻門の会」が開かれた経緯をふまえて簡潔に説明しなさい。
19. この場面で、范増・項莊・項伯はそれぞれどのような立場・思惑で行動しているか。三人について、それぞれ一文で説明しなさい。
20. 故事成語としての「鴻門の会」は、どのような場面・状況を表すか。その意味を説明しなさい。
21. 『史記』について、次の小問に答えなさい。
- (1) 著者の名を答えなさい。
 - (2) 『史記』が確立した、人物の伝記を中心に歴史を記す叙述形式を何というか、答えなさい。
 - (3) 「鴻門の会」が収められている篇の名を答えなさい。
22. 次の語句の本文中での読みを、それぞれ答えなさい。
- (1) 玉玦
 - (2) 默然
 - (3) 諾
 - (4) 翼蔽